

平成二十一年二月二十四日

みろくさいげしよ

三六再下生

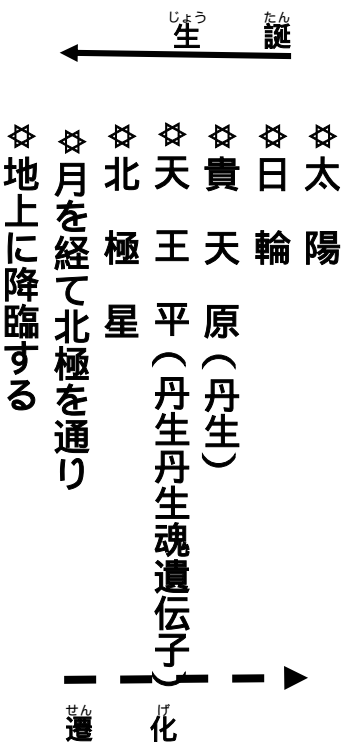
二十周年記念日

平成元年二月二十四日

昭和天皇の大喪の礼に拝受

三代目東核芒種大伝道師 加古藤市

地球に生命が誕生し遷化への論理



天照皇大御神「熱田の生産の神」は、生命を誕生させる為に、

太陽に「丹」と「芒種のエネルギー」を練り阿弥生産出させ、太陽の周りに輪界に留め置かれ、太陽の真光をもろに受け留めさせ、互いに激しく照り輝き返し合わせて、激しく高まりくる熱気をもって、日輪太陽界を七千度、八千度となる熱い田とされました。

生命遺伝子の源となる根を創り出す為に、たぎり来る太陽の真光を、丹(魂)と芒種のエネルギーとを更に激しく反応させ、真光と丹と芒種のエネルギーの三つの宝(三宝荒神)が吸収吸収し合い、力組みをして渾然一体となり親の光「親光」となり、丹がいつでも何処でも吸収吸収することが出来る亢進状態を創り出されました。

その亢進状態の中で、貴天原に集う生と親光に運ばれた丹が結合し、丹が生が吸収吸収しあい丹生となって重くなり天王平に降り、丹生丹神魂遺伝子となり、北極星を通り、潮の満ち干き満干の神仕組みにて、月を経て北極を通り地上に生命と誕生するのです。

生命界地球で生き物として一生涯の生活を経て、丹生の生(生身)を地球上に残し置いて、丹(魂)だけが太陽に遷化して、次の命の生まれる源となる

根を創り出していくのです。これが輪廻転生の神仕組みで御座います。

この神仕組みにて三位一体の生命界、植物・動物・人間の生き物が、輪廻転生していくために、人間の祖人「初代」伊邪那岐尊・伊邪那身命が貴天原にて、人間として誤りなく生き抜く為の道徳を、神と約束「御難賛助の御誓約」と「知瑠恵」を誓い、丹波の国の貴天原真那井原丹庭に今から約七百二十万年前に御降臨御降誕されたのでございます。また、今、現在も初代の動植物の丹生丹神魂遺伝子が耐えることなく雄蕊と雌蕊、雄と雌・男と女の伊勢の神仕組みが続けられています。

だから、食べ物の遺伝子組み換えもクローンの生き物では、正統の丹生丹神魂遺伝子は無く、形だけの生き物となってしまい、命の継承が出来ず滅亡して逝くしかないので御座います。

合掌

地球に人間生命誕生の歴史

約720万年前

初代伊邪那岐尊・初代伊邪那身命、人間のご先祖は、神と約束「御難贄助の御誓約」と「知瑠恵」との靈魂を誓い、丹波たんばの国の貴天原真那井原丹庭たかあまはらまないはらたにわに降臨こうりん御降誕ごこうたんされました。そして神命に従い男十九名、女十九名の御子を生み育てられました。

約4200年前、

伊邪那岐家世襲最後の伊邪那岐尊の嫡子アマテルカミ尊が改めて、丹波たんばの国の貴天原真那井原丹庭の地にて、伊勢生成いせいなりの神仕組みかみしくを、神より御啓示ごけいしを戴き、神との約束を果たす為に、椿の庄にお住まいになっていた猿田彦尊の仲立なかつりにより、弟ハヤスサノオ尊と、多度の小山の頂「天王平」にて「御難贄助」と「知瑠恵めくみ」の御誓約ごけいひの誓いをされ、日出ひいずる日ノ本の統一国家建設を目指されました。

約2669年前

神倭伊波礼比古尊かみやまといわれひこのみこと（神武天皇）御難贄助の御誓約を五人の男と三人の女の神として、神との御誓約ごけいひをないがしろにしてしまいました。

平成元年二月二十四日

神との約束「御難贄助の御誓約」と「知瑠恵」を昭和天皇の大喪の礼を通して、私、加古藤市に御啓示を戴いた証が、神聖画でございます。

その証は、孝明天皇の時代、これまでは自国だけの争いが続いていましたが、当時の政治権力者長州が西郷隆盛にかずけ、朝鮮征伐を唱え、隣国への侵略戦争を計っている事を知り孝明天皇は許されず、有栖川熾仁たるひとと妹和宮の婚約を破棄して、和宮を徳川に嫁がせ、内戦を防止したのにもかかわらず、長州の権力者には孝明天皇の思いは通じず、孝明天皇自ら身の危険が迫った時、護衛の力士旭形亀太郎が孝明天皇を抱き上げて避難され救ってくれた（蛤御門はまがたの変）その褒美ほびに、孝明天皇は神国の秘法、即ち切紙神示（十・HELL）を伝授し、且つ、

孝明天皇直筆・勅筆の経綸書と御旗を託された事を、大本教に収められていた「たまほこのひ可里」に記されている書を、出口和明さまの手に依って明らかにされました。

その後、長州の権力者は、孝明天皇と睦仁親王を暗殺し、山口県熊毛の大室寅之助を明治天皇に擁立して、明治・大正・昭和と侵略戦争を繰り返した神への背きのさわりが、広島・長崎への原子爆弾の投下で御座居ました。

そこで、日本国の未来の為に、昭和天皇に降ろされたのが、日本国憲法第九条「神との御難賛助の御誓約」の精神でございました。その憲法九条を改正すると言うのでは、御誓約の御意志を踏みにじることになり、日本国の国是が成り立たないのです。

世界恒久平和の旗印として、今上陛下の大御意志を以って、日本長尊が民草和氣の剣を納められた熱田神宮の元宮、名古屋市緑区高町日神山地内、尾張族が伊勢生成の神をお祀りされた地に、全世界の戦争殉難死された人達

の御靈魂処として世界平和神宮院と、日本国憲法第九条の生み親、昭和天皇をお祀りする、昭和神宮を竝宮として建設為し、日本国憲法第九条を世界恒久平和のための世界憲法となし、二度と戦争のない世界を造り、全ての生命の救済者に成られます事を、今上陛下に託されているので御座居ます。

拝

皇国の神術 秘伝公表

土井靖都氏やすくにから遺品として

出口和明氏やすあきに渡され、保管されていた孝明天皇の秘伝

孝明天皇は旭形亀太郎に直接伝授

政治権力により自らの身の危険が迫ったとき、護衛の旭形亀太郎が孝明天皇を手の平に抱き上げて、背中に玉を受け避難され救ってくれた褒美に、旭形亀太郎に「切紙神示」「たまはこのひ可里」等、伝授されました。

旭形亀太郎は佐藤紋次郎に伝授

明治二十四年春、名古屋駅の客として四海波の親方の家まで俥に乗せたのがきっかけで、何時も可愛がられ愛弟子になった。

明治二十五年、【本日は畏れ多い事ながら、先帝孝明天皇様から玉の御手づから、不肖の臣 旭形に御秘伝遊ばされた皇国の神術を其方に伝授致すから慎んで御授納ありたい。此の神術を御秘伝遊ばすの当たり天皇様は斯く仰せられた。

『此ノ神術八朕ヲ措イテ他ニ為シ得ル者ガアラバ神モ天皇モ無イモノト思へ、

鶴ノ一声ト申ス事ガアルガ、斯く神術ヲ申シタノテアル』と、自分は恐懼感激して奉戴申し上げたのである。左様の次第であるから、此の神術を行う時は如何な場合でも直接に畳の上などで為してはならぬ。決して忘れぬやうに「懇ろに論さされて伝授されたので御座います。

孝明天皇の切紙神示

一枚の半紙に缺で十・HELLと切り、旭形亀太郎に伝授する。天皇の身辺には信じる誠の者がいなかった証拠でしょう。

十・HELLの意味

神は悪魔に支配されている。神と悪魔の戦い。

孝明天皇は御難賛助の御誓約の靈魂の持ち主だったのです。

出口王仁三郎さまは、昭和二十年広島長崎の原爆投下は「天の岩戸開き」といった。

佐藤紋次郎は土井靖都氏やすくにに伝授

出口和明氏は中学生の頃、土井靖都氏やすくにから口述で伝えられていました。平成十年、出口王仁三郎氏五十年の命日に発見された物証が、出口和明氏

により「神の国」の本にて、公に発表されていきました。その本が今年、平成二十一年二月十六日加古藤市の誕生日に届けられました。

此の事は、出口王仁三郎氏、孝明天皇、昭和天皇の御靈魂のお活動みたま気のお陰さまと信じたいものです。

二十周年記念日の今日、皆様に孝明天皇の秘伝を発表する事が出来た事に感謝し、私たち豊受界も、お導きを無にしないように一丸となり、世の立て直しの活動気をして行くつもりではありませんか。

昭和天皇

昭和二十年八月十五日停戦を宣告され、「御難賛助の御誓約と知瑠恵」の靈魂たましい、日本国憲法第九条の生み親おやになられました。その後、終戦記念日として今日に至っています。

加古藤市

平成元年二月二十四日、昭和天皇の大喪の礼の日、NHK総合テレビを通して、弥勒再下生の御姿を拝受され、今上陛下に「御難賛助の御誓約と知瑠

恵」の靈魂となり、世界のメシヤに成られる事を御啓示戴いております。

「神の国」より抜粋

キリスト教は父と子。マホメットも父と子、仏教は一切が無である。父もなければ母も無く、唯人間あるのみ。と説いている。なぜならば唯心の阿弥陀あみだに己心の浄土を言っているではないか。今日までの既成宗教は、総て父があっても母が無かったり、母があっても父が無かったり、変性男子があっても女子が無かったり、不完全極まる教理であった。天の時来て真の三位一体をミロクニ会を説く宇宙大本教が出現したのである。

☆加古藤市は雄蕊と雌蕊・雄と雌・男と女の伊勢生成の神、三位一体の人間と神との約束「御難賛助の御誓約と知瑠恵」(此の中には環境問題も入っています)を御啓示されています。

知瑠恵とは、恵を理解する事の中に恵が生まれ、その恵みによって生命界の志合せを戴くことが出来るので御座います。

合掌

平成二十一年二月二十四日

昭和天皇の大喪の礼二十周年記念日

豊受界一同